

欠席委員からのご意見

平成20年1月17日

国土交通省 中国地方整備局

欠席委員からのご意見

○ 高杉千賀子委員

- ・ 安芸太田町では、太田川の水位が上がり避難したり、太田川沿いの小学校のグラウンドが浸水したり台風のたびに不安があった。治水対策の必要性を実感している。
- ・ 昔は太田川の流量が多く、材木や炭を下流の広島まで川を下って運んでいたと、お年寄りから聞いたことがある。発電利用は理解できるが、太田川の普段の流量は少なく、環境面からも問題ではないか。
- ・ 過疎化と森林の荒廃が進んでいることも、上流では大きな問題である。子供達と林業体験を通じて、山を守る大切さを学習するようにしている。
- ・ 太田川上流の川沿いで雑草の生えている場所に、不法投棄が多い。子供達とクリーン活動すると悲しい思いになる。それぞれの地域で、子供から大人までクリーン活動を実践する事が大切だと思う。
- ・ 水害の記録をしっかりと留める事が重要だと思う。災害史等で後々まで残していくことが大切ではないか。
- ・ 太田川水系における特徴と課題については、概ね了解。

○ 福田由美子委員

- ・ 情報を流すだけでは、住民は理解できない。流される情報も住民が理解できないものが多い。住民の中に河川行政を理解している、例えば「防災民生委員」のような行政と住民をつなぐ説明役が必要だと思う。自分の生活レベルで考えることができるよう、もう少し行政として努力する必要がある。
- ・ 住民の防災に対する意識が低い。防災は行政が全てやってくれると考えている人が多いように思う。地域の消防団も弱体化しており、自分達の事は自分達の力で守る「自助」「共助」も重要であり、それぞれの地域において「川の自主防災組織」の構成など積極的に行うべき。
- ・ 広域的な水利用の項目のところで、太田川の水に非常に頼っているのであれば、水源池におけるテロ対策や水質事故への対応をしっかりとやることも必要。
- ・ 川を使った雁木タクシーや遊覧船は河川利用の新たな活用をいろいろと模索し提案していると思うが、それ以外にも、今の時代で川を使って有益な産業はできないか。川はもっと利用出来るように思う。
- ・ 森林保護は重要だと思う。太田川の水の恩恵を受けている関連自治団体は、連携して森林を守る「流域ネットワーク」組織をつくって、話し合いをもつことが重要だと思う。流域全体として、森を守り育てることに向かうべき。
- ・ 太田川水系における特徴と課題については、追加する意見は特に無い。